

高瀬神社 社報

VOL. 86  
令和7年7月1日

# 越中一宮

<https://www.takase.or.jp>



撮影：南部成美

## 7月・8月の祭事

月次祭（毎月1日・13日／9月は1日のみ）

七夕祭並びに技芸上達祈願祭（7月7日）

人形感謝祭（7月20日）

除熱祭（7月21日）

中禮祭（8月16日）

## 夏詣。

今年の夏詣は7月1日（火）から21日（月）まで。

暑い夏を元気に乗り切りましょう。



## 「御杣始祭に参列して」

宮司 藤井 秀嗣

本年四月、富山県神社庁長に就任いたしました。元来浅学菲才の身ではありますが、精一杯務めたく存じますので、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

去る六月三日、長野県上松町の木曾谷国有林にて斎行された「御杣始祭（みそまはじめさい）」に参列しました。来る令和十五年に行われる第六十三回神宮式年遷宮の御用材を切り出す重要な祭儀であります。全国から限られた方々が招待されるなか、参列できたことは誠に光栄なことでした。

前回の御遷宮のこの祭儀に、父も富山県神社庁長として参列しました。今回、自分

世の中の変化は早くて激しいと感じます。これに対応して行くことは大変なことではありますが、八年後の御遷宮にむけて氏子崇敬者皆様のご理解のもと、力をあわせて活動してまいりたく存じますので、更なるご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 富山県神社庁長 神社本庁理事 就任

この度、当神社藤井秀嗣宮司は富山県神社庁長、また神社本庁理事に就任しました。

越中一宮高瀬神社、庄の雄神神社をはじめ五十七社の兼務神社、そしてこれよりは庁長の職務にも注力することとなりますが、ご関係各位には引き続き、変わらぬご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

### 略歴

昭和三十六年七月十日生まれ。昭和五十九年國學院大學文学部神道学科を卒業、同年明治神宮に奉職。平成元年に権禰宜、同十一年禰宜となり、その後故郷富山に戻り、代々社家として奉仕する高瀬神社権宮司に就任、平成二十九年より宮司を務める。富山県神社庁においては平成十六年に協議員、令和四年に副庁長、令和七年四月、庁長に就任した。



春の大祭

春季祭



神域の桜も満開を迎えた四月十日、雪残る山影に今年の大雪の苦勞を思い起こしつつ、長い冬の終わりを告げる桜の祭典「春季祭」を斎行しました。祭典では季節ごとの恵みと大神様の日々のご加護に感謝し、来る秋の豊かな稔りと、氏子地域また砺波野の里々の安寧を祈りました。

# 祈年穀祭齋行

― 地域農業の発展を祈念して ―

初夏の風を受けて境内の緑も清かにそよぐ六月十日、五穀豊穡と地域農業の発展を祈る「祈年穀祭」を齋行しました。

大神様よりいただいた御神火によって、農作物を蝕む害虫の災いを祓う祭典。本年は藤井秀之・岩倉恒夫責任役員、井波地域農業者会会長 波能治男氏、高瀬区長 中嶋光夫氏他、約四十名のご参列のもと、滞りなく祭祀を厳修しました。

当日は、参向使をお努めいただいた福光農業協同組合 代表理事組合長の幅田浩司氏により、五穀豊穡を祈る祭文が奏上され、田畑の平穏と、悪天候や害虫の障りのない農作物の無事の生育を祈って、神前神楽「浦安の舞」が厳かに奉奏されました。



古式により鑽り出された御神火に一拝

## 御神火が里々を巡る

六月十一日、大神様の御神霊をお遷した神輿と古式に則り鑽り出された御神火が、新緑薫る砺波野を巡行しました。

この日、神輿に供奉されたのは、当神社責任役員 岩倉恒夫氏、高瀬区長 中嶋光夫氏、御神火奉持所役 大和秀夫氏。例年のごとく、なんと農業協同組合・福光農業協同組合・いなば農業協同組合、となみ野農業協同組合の順に御神火授与祭を奉仕しました。

## 祈年穀祭 神輿渡御



写真提供 となみ野農業協同組合

## 昭和天皇の聖徳を偲んで

「昭和の日」として親しまれる四月二十九日、境内の木立ちも新緑に包まれる中「昭和祭」を齋行しました。

祭典では古し日の昭和天皇のご聖業の数々に想いを馳せ、皇室の益々の弥栄と国の隆昌を祈念しました。



## 昭和祭齋行





た。作の祈りを込めて玉串を捧げまし

ひと株ひと株、心をこめて水面を渡る風も温み始める五月十八日、当神社献穀田にて「御田植祭」を斎行しました。花笠と緋袴を身にまとった可愛らしい五名の早乙女さんが、ご神前より授かった苗を心を込めてひと株ひと株植え、本年の



献穀田奉耕者 澤田 秀継氏  
井波地域農業者会会長 波能 治男氏

## 八乙女山風神堂例祭斎行



風薫る六月一日、八乙女山風神堂の例祭を斎行しました。この風神堂は、季節の変わり目に吹き荒れる「井波風」の根源と伝えられる「風穴」の鎮めとして約千三百年前に建立。以来この井波の里を強風の被害から護る守護神として崇敬を集めています。昨年の長雨による登山道の土砂崩れの影響から、本年も祭場を閑乗寺公園に移し、南砺市観光協会井波支部の関係者ご参列のもと、恙なくご奉仕しました。

閑乗寺公園から山頂の「風穴」を祓う

祝祭日には国旗を掲げましょう



## 献花祭斎行



六月九日、国の指定遺跡である高瀬遺跡「菅蒲まつり」の開催にあわせて「献花祭」を斎行しました。当日はご参列いただいた高瀬遺跡保存協会の皆様より可憐な花菖蒲をご奉納賜り、地域の古代史研究の拠点として名高い高瀬遺跡の益々の発展と、高瀬の里の平穏を祈念して玉串が捧げられました。

## 人形感謝祭のご案内 — 思い出をありがとう —

古くなった人形に感謝し、お祓い、お焚き上げをするお祭りを行います。役目を終えた人形をお持ち寄り下さい。



日時 7月20日(日) 10:00  
受付 7月19日(土) 9:00~15:00  
7月20日(日) 9:00~ 9:45  
祈願料 3,000円からお納め下さい。(手提げ袋1袋程度につき)

今までありがとう



期間 7月19日(土)~21日(月)  
午前10時~午後4時  
会場 高瀬神社 参集殿

## 第25回 人形展(一期一会)

県内外で幅広く活躍する人形作家と、草月流富山県支部 秀抱会との、創作人形といけばなの共演。更には吊し飾りも展示されます。心ゆくまでお楽しみ下さい。





一粒万倍日は、古くより日本の暦にある吉日のひとつです。一粒の種から一本の稲が育ち、この稲穂に万倍のお米が穂ることになぞらえ「ほんのわずかなものが飛躍的に増える」という意味合いが込められています。この日に行うことは大きな成果が期待される為、ご祈禱を受けて成就を願うには大変ふさわしい日とされています。

|            |     |                       |
|------------|-----|-----------------------|
| 一粒万倍日カレンダー | 7月  | 12日・15日・24日・27日       |
|            | 8月  | 5日・11日・18日・23日・30日    |
|            | 9月  | 4日・7日・12日・19日・24日     |
|            | 10月 | 1日・6日・16日・19日・28日・31日 |
|            | 11月 | 12日・13日・24日・25日       |
|            | 12月 | 6日・8日・9日・20日・21日      |

【参道玉砂利】  
安達建設 株式会社  
代表取締役 安達 正彦 殿  
【参道玉砂利運搬奉仕】  
株式会社 岡部  
代表取締役社長 岡部 竜一 殿

【本殿装束筆筒】  
みに美容室 三谷千津子 殿  
6月1日 篤志奉納報告祭

【参道玉砂利敷設奉仕】  
株式会社 藤井組  
代表取締役社長 藤井 公嗣 殿  
【境内樹木剪定奉仕】  
株式会社 越路ガーデン  
代表取締役 西尾 倫顕 殿  
【芍薬切り花】  
中嶋幸之丞 殿  
【麻細工 鈴緒】  
岩田 典子 殿

以上の皆様よりご奉納を賜りました。厚く御礼申し上げます。

## 連載 鎮守の杜 のすたるじい 第8回

高瀬神社献穀田のこと  
株式会社 楽農志 Farm 岩倉  
代表 岩倉 和弘

高瀬神社献穀田最初の奉耕者は昭和五十九年、当時の井波中核農業者会の会員でもあった勸学院の中田修幸さんでした。献穀田の奉耕も今年で四十二回を数え、去る五月十八日には南山見は沖の澤田秀継さんの圃場にて、今年の御田植祭が行われました。

私の家では第四回（昭和六十二年）に父の喜一、第二十二回（平成十七年度）に私（和弘）、第三十二回（平成二十七年）に弟と、有難いことに三度にわたってお世話をさせて頂きました。当時私が苦労したのは、子供の頃によく六角形や八角形の「杵転がし」を見かけましたが、実際に転がしてみると端を合わせるのが意外と難しかったです。

り、御田植祭で早乙女さんに植えてもらう苗を、播種一箱約五十グラムと薄播きにし、育苗期間を三十日取って、一本一本ガツチリとした苗に育てたり、また刈り取った稲は伊勢神宮に奉納されるので倒伏しないように等々、栽培管理に



も大変気を遣いました。そう、献穀田で刈り取られた稲は伊勢神宮の神嘗祭と高瀬神社の新嘗祭に奉納、更には正月の縁起物である「穂宝」にも使用されているのです。ここ数年は少子化の影響で五月の御田植祭、九月の抜穂祭にご奉仕頂く早乙女さんを探すのに大変苦労をされています。

その年私と妻は、宮司様のお計らいで十月の伊勢神宮初穂曳に参加させて頂きました。全身白い服と法被に身を包み、全国から伊勢市に集まった皆様と、初穂を載せた奉曳車を「エンヤ」とばかりに曳き回し、その夜の神嘗祭由貴大御饗では静寂の間の中、緊張しながら儀式を拝見させて頂いたことが今でも記憶に残っています。

初穂曳では徳島の阿波踊りなど全国の有名な踊りもたくさん見ることができ、奉耕者としての一年間の苦勞も、その時点ですべて吹き飛ばしました。宮司様はじめ井波地域農業者会ほかの皆様へ感謝申し上げます。

この高瀬神社献穀田の祭事が未永く続くよう、今後の課題として努力したいと思います。



平成17年 初穂曳にて

このコラムでは、氏子崇敬者の皆様よりお寄せいただいた、高瀬神社にまつわるとうておきの思い出を紹介いたします。

写真協力 となみ散居村ミュージアム



## 大国さまの処方せん①⑦

「夏場の水分と塩分の補給について」

南砺市民病院

栄養科 科長 山口千佐登

梅雨も終われば夏本番です。暑い時期になると、熱中症対策として「水分と塩分を補給しましょう!」と、よく耳にしませんか。

夏は皮膚からの蒸発増加により水分が不足しやすくなります。屋外での運動や作業のみならず、高温環境にある室内でも水分の喪失が多く、熱中症の危険性が高まります。そのため、水分は十分に摂ることが望まれます。

では、塩分はどうでしょうか。厚生労働省の「日本人の食事摂取基準」では一日の塩分摂取量は男性七・五グラム、女性六・五グラム未満を推奨しています。それに対し、日本人の食塩摂取量

は平均一日一〇グラム程度と普段から塩分を多く摂っています。暑い夏でも、日常生活で汗をかく程度では積極的な塩分補給はあまり必要ないと思われるます。

高温環境下での作業や運動などで特に発汗が多い場合、水分だけを補給すると血液のナトリウムやカリウムが低くなる場合があります。その場合は、水分とともにスポーツ飲料や経口補水液などで塩分・ミネラルを補給することが勧められますが、よほど長時間でない限り、そこまで塩分が失われることもないでしょう。(なお、スポーツ飲料で補給の際には糖分の摂り過ぎに注意が必要です。)

例えば炎天下で草刈りした場合、おかずは味を濃くしておかんなん：：そこまで気を遣う必要はないんです。出来ることなら涼しい時間帯に作業をおすすめします。

なお、高齢の方は、のどの渇きを感じにくくなることから、エアコンなどを適切に使用して暑さを避けることと、意識的に水分(一日一リットル以上)補給することをお勧めします。

しっかり食べて体調を整え、元気に夏を乗り切りましょう!

山口千佐登

南砺市民病院栄養科 科長  
好きな食べ物はトマト。実家で作るハウストマトが最高です。

管理栄養士として、日々患者さんの健康維持に取り組まれています。

医薬医療の神として知られる大国主大神(大国さま)のご神徳にちなんだこのコラムは、毎回、専門家の方にご寄稿いただき、読者の皆様の生活に役立つ医療知識などを発信いたします。

日本の新しい習慣として

## 夏詣 開催

期間 七月一日(火)～二十一日(月)

「夏詣」とは…

「大祓」は年に二回行われます。十二月三十一日の「師走の大祓」で罪穢れを祓い清めてから「初詣」に出かけ、新年の平穩を祈ります。

六月三十日の「夏越の大祓」でも同様に罪穢れを祓い、半年が無事に過ぎたことに感謝し、残る半年も平穩に過ごせるよう祈る参拝のことを「夏詣」と呼び、新しい習慣として提唱しています。



100セット限定の夏詣セット



境内を飾る550個の風鈴



夏詣期間限定のご朱印

「夏詣セット」で夏を楽しく  
高瀬神社では期間中、夏詣セットをご用意して皆様のお参りをお待ちしています。初穂料二〇〇〇円  
【セット内容】  
○災厄を打ち砕く「厄割玉」  
○水に浸しておさとしをいただく「水みくじ」  
○夏詣ガチャ用コイン(風鈴みくじ)  
○夏詣身体健全神札  
(縦二二センチ×横七センチ)  
どうぞ、ご家族お友達お揃いでお参り下さい。

能登半島地震及び豪雨で被災された皆様に心からお見舞い申し上げ一日も早い復興をお祈りいたします





日時 7月7日(月) 午後3時

## 七夕祭並びに 技芸上達祈願祭のご案内

### 三味琴の奉納演奏も

今年の七夕祭には金沢市の岩田典子さんによる「三味琴」の演奏が奉納されます。幻想的な響きを放つ打楽器などの涼やかな音色に、しばし身をゆだねてみてはいかがでしょうか。



今年で七回目数を数える「夏詣」期間中の七月七日、ご参拝の皆様が掲げたたくさんのお願ひ事短冊を祓い成就を願う「七夕祭」を斎行します。

この日、当社社では七夕の神事に併せて、織姫の優れた手わざにあやかり「技芸上達祈願祭」を斎行します。どなたでもご自由に参列下さい。

### 短冊に祈りをこめて

### 社報バックナンバーのご案内

当社社のホームページにてバックナンバーをご覧いただけます。祭典の由緒や行事の沿革など、過去の記事もご参考になさってください。

<https://www.takase.or.jp>

### 表紙写真

除熱祭にて、献穀田の清拭い。夏の暑さや害虫の災いから農作物を守る為の、古くよりの神事。

### 編集後記

フォークシンガーの高田渡さんのレコードに「ブラザー軒」という歌がある。七夕の夜に亡き父が亡き妹



### 大輪あさがお展 開催

期 間 8月1日(金)～4日(月)  
展示時間 7:00～12:00

今年も高瀬神社の夏の風物詩、南砺あさがお会主催の大輪あさがお展が開催されます。朝顔は朝のうちが見ごろです。お誘い合わせの上、どうぞ皆様で足をお運び下さい。

境内の桜も満開を迎え、お参りの方々と賑わう去る四月六日、当社社の恒例行事「桜詣」を盛り上げるべく、金沢市を中心活動する加賀豊年太鼓保存会四十名の皆さんが応援に駆けつけてくれました。

境内では八十名を超える方々が、勇壮な太鼓の響きとキレのある元氣いっぱいのパフォーマンスに、満面の笑顔と大きな拍手を送っていました。

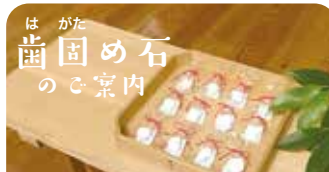


### 4/6 奉納演奏

### ありがとう！ 加賀豊年太鼓

### 【辞令】

巫女見習 赤松 美佐  
巫女を命ずる  
令和七年七月一日



初宮参りにてご昇殿の赤ちゃんに、お食い初めの「歯固め石」をお頒ちしています。「丈夫な歯が生えますように」との願いを込めて行う儀式に、この「歯固め石」をご希望の方は、どうぞご祈禱後にお申しつけ下さい。

### 安産祈願 戌の日カレンダー

|     |            |
|-----|------------|
| 7月  | 4日・16日・28日 |
| 8月  | 9日・21日     |
| 9月  | 2日・14日・26日 |
| 10月 | 8日・20日     |
| 11月 | 1日・13日・25日 |
| 12月 | 7日・19日・31日 |

腹帯のお祓いも行いますので、どうぞご持参下さい。



# 人生儀礼



結婚式



年祝



安産祈願

— えん結び —



厄祓



初宮詣



合格祈願



七五三詣



初節句

## 感謝と祈り



ずっと祈り、祈られてきた。  
無事に生まれますように。  
健康に育ちますように。  
人生を切り開けますように。  
良いご縁がありますように。  
大切に育ててくれた家族、  
苦楽を共にしてきた友、  
人生を彩るたくさんのご縁、  
当たり前に過ごした日常は  
かけがえのない日々でした。

私たちの結婚は、感謝することから始めたい。  
今日の決意を忘れず、ふたりで歩んでいきます。  
どうか神様、これから  
私たちを見守っていてください。



あなたの人生に 神社がある

越中一宮高瀬神社

